

こんにちは 子育て相談窓口です

問合せ 子育て相談窓口 ☎0495-74-0205 FAX 0495-77-2117

感染予防を心がけ体調を整えましょう

マイコプラズマ肺炎

埼玉県では、マイコプラズマ肺炎が過去10年間で最も流行しています。

【症状】

発熱や全身の倦怠感、頭痛などの症状が現れ、遅れて咳が始まります。熱が下がった後も咳が3～4週間ほど続くのが特徴です。感染した人の多くは気管支炎で済み軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎を起こし重症化することがあります。

【感染経路】

秋冬にかけて増加する傾向があり、飛沫や接触から感染します。患者の約80%は14歳以下ですが成人でもかかります。

【予防法】

- 普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。
- 咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。



麻しん

埼玉県では令和6年に入り8例目の麻しん患者の発生があり(11月現在)、令和2年から年に多くて1人だった患者数が大きく増加しています。麻しんは感染力が極めて高い感染症で、免疫のない人が感染すると年齢を問わず発症します。

【症状】

38℃程度の発熱、咳や鼻水などの風邪症状が現れ2～3日間続きます。その後は39℃以上の高熱となり、体中に赤い発疹が出現します。

【感染経路】

空気感染、飛沫感染、接触感染で人から人へ感染が広がるため喚気の徹底が重要です。麻しんが疑われる場合は医療機関へ連絡してから受診しましょう。

【予防法】

- 麻しんは感染力が強く空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。
- 麻しんの有効な予防方法はワクチン接種です。2回接種による免疫獲得率は97～99%以上と報告されており、発症リスクを最小限に抑えることが期待できます。

※定期予防接種・・・第1期(1歳児)、第2期(小学校就学前の1年間)を接種しましょう。



健康メッセージ

問合せ 保険健康課 ☎0495-77-2113 FAX 0495-77-2117

まだ間に合う！特定健診受診のススメ

新年を迎え、この時期は自分の身体を見つめるよい機会です。生活習慣病には自覚症状がありません。早期発見・治療が大切です。



Q 特定健診ってなに？どんな検査をするの？

A 身体測定、血液検査、血圧測定、診察、尿検査、心電図の検査を行います

特定健診とはメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目して、生活習慣病の早期発見や予防を目的とした健康診断です。40歳以上であれば、加入している健康保険先でどなたでも受診できます。



Q いつも病院にかかっているのに特定健診は受けなくてもよいですね？

A 通院していても特定健診は必要です

治療中の病気に関する検査と、特定健診の検査内容は異なる場合があります。特定健診を受診しないと他の病気の早期発見の機会を逃してしまう可能性があるため、通院していても受診しましょう。かかりつけの医師に受診について相談するのもいいですね。



こうなる前に、1年に1度自分の身体を見つめる機会を作りましょう



Aさん(男性)

毎晩晩酌することが楽しみ。
自分は健康だと思っているため、
特定健診を受診したことがない。

52歳 20代の頃よりも体重が15キロ増加



60歳 身体がだるいことが多くなったが、年齢のせいだと放置



63歳 頭痛がひどく病院を受診したら、2型糖尿病・高血圧症と診断



69歳 慢性腎不全により透析開始



もしも早くに特定健診を受けていれば・・・

町では、特定健診とがん検診を実施しています。どちらか一方の受診ではがんや糖尿病、心疾患など重大な病気の進行を見逃す可能性があります。両方の健(検)診を受けましょう。

がん検診について詳しくは町ホームページをご覧ください。



町ホームページ